

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立 日新小学校	児童数 372人
-----	------------	----------

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	イベントいっぱい！ 図書館に行こう！
	取組期間	令和6年(2024年)4月8日～令和6年(2024年)11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

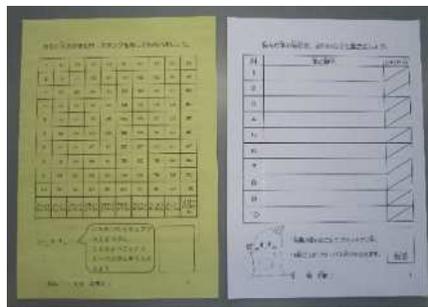
II.取組後の評価

	取組人数	372人	実施日数	237日	読書冊数	29,118冊	連携した団体数	2団体
評価	取組内容(概要)	図書委員、司書、司書補助、司書教諭を中心とした体制の下、年間計画に沿って多様な読書活動を継続して行っている。 ①読書カードを使った貸出し記録 ②年間目標貸出数達成者の掲示 ③読書ビンゴ&佐賀弁クイズ ④年2回の図書館まつり ⑤1日体験図書委員 ⑥読み聞かせ体験 ⑦季節展示による読書推進と情報発信 ⑧市立図書館やボランティアとの連携						
	工夫したこと	①カードを見れば自分が今までに何冊借りたのか一目でわかる。いくつか目標冊数を設けており、達成すれば「プラス1冊券」「フリーパス券」「しおり」などのプレゼントがもらえ、目標達成への意欲にも繋がっている。 ②1・2年生100冊、3・4年生90冊、5・6年生80冊の年間目標を達成した児童の名前を書いた星を掲示。その後も200、300冊以上と段階的に星の色を変えることで、さらなる読書意欲を高める工夫をしている。(毎週金曜に司書補助により更新) ③ビンゴカードには「担任の先生が好きな本」「家族に読んであげたい本」(以下に詳細)「動物の本」「乗り物の本」など様々なテーマが書かれており、借りたらスタンプを押す。列が揃ったら「佐賀弁クイズ」に挑戦。日頃使い慣れていない佐賀弁に苦慮しながらも、先生方に質問する姿が見られた。(開催期間1ヶ月) 「家族に読んであげたい本」 自宅で児童が家族に読み聞かせをした後、家族から感想を書いてもらい図書館だよりで紹介した。たくさんの温かいコメントを書いていただき、 ^{うちどく} 家読推進にもつながっている。 ④図書委員主体で様々な担当を分担して取り組ませる。事前におまつりのしおりを全校に配布し、開催中はイベント内容を図書委員が毎日給食時間に放送。終了後もしぼら						

	<p>く作品を展示することで児童が図書館に足を運ぶきっかけにもなった。</p> <p>(以下開催内容 各1週間開催)</p> <p>6月…しおり作り・イラストコンテスト・ピョンピョンかえる作り・図書館クイズ</p> <p>11月…イラストコンテスト・本ビンゴ・どんぐりトトロ作り・折り紙でどんぐり作り・4コマまんが・コラボ給食3日間</p> <p>⑤希望する児童に図書委員の仕事を体験してもらう。図書委員が受付や本の整理の仕方を指導。低学年の参加者が多く、楽しんで参加する姿が見られ、図書委員活動の理解にも繋がっている。</p> <p>⑥参加希望の児童には10分程度で読める本を図書館や自宅で選んでもらい、学校や自宅で練習をするよう指導。多くの児童の前でも落ち着いて読み聞かせができる児童が多かった。</p> <p>⑦・館内だけでなく図書館前の廊下や靴箱の上でもおすすめの本を紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎の修学旅行の後、6年生が制作したSDGs®「平和と公正をすべての人に」のパンフレットを戦争の本コーナーで紹介。 ・新しく買った本は1冊ずつ写真付きでポスターを作成し、紹介文を添えて掲示。 ・イベント時の写真をふんだんに掲載した図書館だよりや、職員と図書委員からのおすすめの本を顔写真付きで掲示するなど、目で見ても楽しめる工夫を行っている。 ・今年は教科書が変わったため全学年の国語の教科書(0年生の本だな)に掲載されている本を購入し、教科書コーナーを新設。 ・図書館で行う展示やイベントはたくさんの児童に足を運んでもらうため、図書館だよりや給食時間の放送で全校に周知。 ・毎月各クラスの貸出実績を担任と管理職に報告し、情報を共有している。 <p>⑧本校に無い本や、調べ学習で使用する本を市立図書館から随時借りることができるため、職員や児童からのリクエストに素早く対応できる。また、保護者や地域の方で構成されたボランティアによる読み語りを、年13回全クラス朝の時間に実施。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>今年度は学年別に無理のない年間目標冊数を職員で検討・設定した。そのため図書の時間を活用したり担当が勧めたりすることで、児童の来館数が増えた。職員全体で図書館教育に取り組んだことで、児童の読書意欲をさらに向上させる成果が得られている。「図書館で何か楽しいことやっているな。行ってみようかな」と思ってもらうため様々なイベントを毎年継続して開催している。図書委員と司書だけでなく先生方にも協力いただき、楽しくイベントに参加する児童を見ることができている。今後の課題としては、借りる本の質には個人差があるため、個々に合ったジャンルの本を手にとってもらえるような取り組みをしていきたい。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月 先生方によるクリスマスおはなし会 ・12月 図書委員による折り紙教室「サンタクロースを作ろう」 ・1月 図書委員によるイベント(昨年は「十二支のはじまり」の劇) ・1月 お正月イベント「おみくじ&絵馬を書こう」 ・2月 図書館キャラクター&プラス1さつ券デザインコンテスト ・2月 節分イベント「本を借りて鬼とジャンケン!勝ったらプラス券ゲット!」 ・3月 校長より年間多読児童の表彰

① 読書カードを使った貸出し記録

1年生は借りた冊数分図書委員がスタンプを押す。2～6年生は借りた本の題名を自分で記入。目標冊数に応じてプレゼントがもらえる。



② 年間目標貸出数達成者の掲示

毎年、夏休み明けから掲示開始。階段踊り場に掲示しているため目につきやすく、自分の名前が掲示されることで特別感を味わうことができる。



③ 読書ビンゴ&佐賀弁クイズ

1・2・3年生用と4・5・6年生用のビンゴカードがあり、お題の本を借りるとスタンプがもらえる。その中に「家族に読んであげたい本」があり、家族から感想を書いてもらい図書館だよりで紹介した。スタンプが3列揃うと佐賀弁クイズに挑戦できる。ビンゴゲーム同様ゲーム感覚で本に親しむことができる。



④ 年2回の図書館まつり

楽しみながら本に親しんでもらうためのイベント。工作やクイズが人気。毎年多くの児童が参加するため図工室で開催。司会進行や作り方の指導も図書委員が行う。全てのイベントに参加してしおりにスタンプをもらおうと、図書委員特製の特別プラス券がもらえる。毎年給食室に協力いただきコラボ給食を実施している。使用した本は料理が出てくるページを拡大コピーして展示したり、家庭でも家族と作れるようにレシピを紹介したりしている。



⑤ 1日体験図書委員

昼休みに図書委員と一緒に仕事を体験する。貸出し受けだけでなく、返却された本を本棚に戻す作業をすることで返却の仕方を理解することができる。「5年生になったら図書委員になりたい」と言ってくれる児童もいて、毎年人気のイベントになっている。



⑥ 読み聞かせ体験

本は一人でも友達と一緒に読んでもよい。2年目の試みで毎回参加してくれる児童もいる。休み時間に何度も練習をしている姿が見られた。そのため、本番は多くの児童や職員の前でも落ち着いて読むことができた。



⑦ 季節展示による読書推進と情報発信

～心掛けていること～

- ・四季を感じられる雰囲気作り。
- ・季節や時事に応じた変化のある展示。
- ・入り口ドアは全開にしておき、児童も職員も入りやすくしている。



⑧ 読み語りボランティアとの連携

読み手が足りない時は職員や司書補助が入る。絵が見えやすいように電子黒板を使用する場合もある。



【今後の取り組み予定】

・12月 先生方による「クリスマスおはなし会」(4日間)

先生の名前をふせた招待状兼スタンプカードを全校に配布。スタンプが全部たまれば図書委員手作りのサンタの折り紙をプレゼント。司会進行は図書委員。

昨年の様子



・12月 図書委員による折り紙教室 「サンタクロースを作ろう」

事前に図書委員が作り方を覚え、当日折り方を指導する。



・1月 図書委員によるイベント

昨年は図書委員の発案で「十二支のはじまり」の劇を開催。

セリフの読み合わせや動き方の確認など自主的に何度も練習をする様子が見られた。130名ほどの児童と職員が観に来てくれた中、本番は少し緊張した様子だったが練習の成果を発揮してスムーズに発表できた。その後、十二支関連の本を展示したらたくさんの児童が借りに来てくれた。



・1月 お正月イベント

「おみくじ&絵馬を書こう」

・2月 図書館キャラクター&プラス1 さつ券デザインコンテスト



・2月 節分イベント

「本を借りて鬼とジャンケン！
勝ったらプラス券ゲット！」



・3月 校長より年間多読児童の表彰